

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

## ビジネス・防災対策委員会 基本方針（案）

ビジネス・防災対策委員会 委員長 飯塙 壽久

1 昨今の新型コロナウイルス感染症により、経済・日常生活ともに様変わりしています。県  
2 内の経済状況もコロナウイルスワクチンの接種もあり少しづつ状況は持ち直しつつありま  
3 すが、まだまだ新型コロナウイルスに対応したビジネス、人材不足等が県内企業の課題です。  
4 また、佐賀県内においては、8月の大雨は2年前に匹敵する甚大な被害をもたらしました。  
5 毎年自然災害の影響が出ており、ビジネスを継続していくためには、防災・減災への取り組  
6 みが必要です。

7 まずは、災害時に迅速な連携対応するために、連携協定の継続・拡大への取り組みを推進  
8 していきます。若い世代の防災・減災意識の向上のため、子育て世代に向けた親子参加型の  
9 防災事業を展開します。また、災害時に必要となるボランティア不足を解消するために、大  
10 学・短期大学・専門学校との連携を進めて参ります。さらに、新型コロナウイルス感染症の  
11 影響で売り上げが低迷している企業が、新規分野開拓のために、新規分野進出に対するセミ  
12 ナーの開催や異業種交流会やビジネスマッチングなどの事業で佐賀経済の活性化に貢献い  
13 たします。また、人口減少に伴う人材不足解消・人材育成のために、県内の企業の若手社員  
14 や佐賀県内の大学生や高校生を対象にしたセミナーを開催し人材確保につなげたいと思ひ  
15 ます。これらの活動を通して、佐賀青年会議所メンバー一人ひとりが地域を担う青年経済人  
16 としての質の向上を目指します。

17 W I T H コロナの時代を生き抜き、より良い地域社会創りに貢献していくには、一般社団  
18 法人佐賀青年会議所でだからこそできる事に挑戦し、青年会議所としての知名度・魅力を高  
19 め、地域そしてメンバーが勢いよく輝き続けていける団体としてあり続けられるよう努め  
20 て参ります。

21

22

23

### 24 [事業計画]

- 25 1. ビジネス・防災事業の企画・運営（7月）
- 26 2. 新年会の企画・運営（1月）
- 27 3. 河川清掃（4月・10月）
- 28 4. 例会の企画・運営（5月・9月）
- 29 5. 薩長土肥の企画・運営（11月）

30